



写真上は、縄文時代には坂井平野が足羽山付近まで内湾だったことがわかる「北杉谷貝塚」。

写真中は、林の中に建てられた八十八ヶ所の道しるべ



写真下は、上錦区民館に安置されている「黄金不動尊」。

で、祠が現存しています。「龍華園立田池」はかつて町民の憩いの場だったそうです。

先人が築いた遺産に感動

「三国駅から下錦・上錦・立田池」。この地区は「峠」「湧水」「信仰」「文教」の町ともいわれています。三国駅裏に集合した一行は、駅や鉄路にまつわる説明で

三国散策

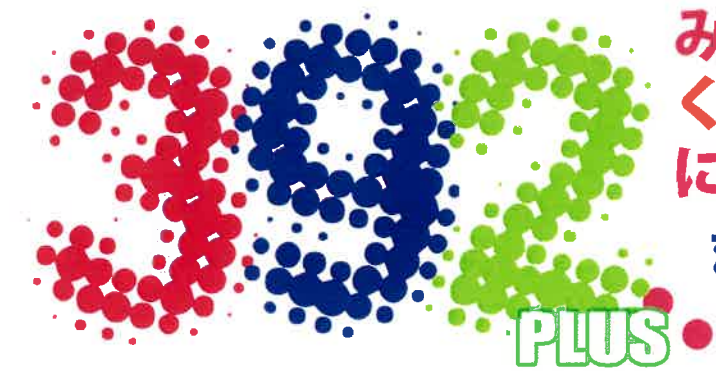
三国駅裏→延命地藏尊（下錦）→北杉谷貝塚→三国中（旧女学校跡）→黄金不動尊（上錦）→荒川探偵記念碑→近藤了介旧居跡→水垂坂→薬師堂跡→立田池→三国高→伊藤柏翠旧居→三国駅

みくに大好き部会



写真は、三国駅裏周辺。戦前、国鉄と私鉄の二駅があり並行して鉄路が敷設されていました。駅東側の踏切では旧国鉄ホームを見ることができ、線路への乗り入れをするためカーブになっています。

三国神社駅付近にある「北杉谷貝塚」では多数の貝殻が発見され、縄文時代には内湾だったことがうかがえました。三国女学校のあった三国中などでは、歴史的な背景を聞きました。立田池跡では遊女が身を投げた伝説に感銘。明治32年に町民らが1人1堂を建立したという「龍華園八十八ヶ所」の祠の一部を確認しました。また、三国と加賀をつなぐ街道「小牧道」の跡を見学するなど歴史の重みを感じていました。



みんなのくふうでにぎやかに…
楽しく一緒にまちづくり
みくにの魅力をプラス!!
まち協だより76号 発行 25.8.14
編集 みくに地区まちづくり協議会

三国駅から下錦 上錦・立田池

三国歴史散策「三国駅から下錦・上錦・立田池」が6月8日に行われました。高校や中学が並ぶいわ



ニュースポーツ体験

近年注目されているニュースポーツ体験の集いが6月29日に三国コミセンで行われました。25人が参加し頭を使った新しい感覚の3種類のゲームに挑戦しました。（3面に関連）



三国北小児童がアサガオの苗植え

1年生児童30人が6月4日、育ててきたアサガオの苗をプランター15個に植えつけました。三国コミセン前のアサガオは暑さに負けず、スクスク育ち毎日、きれいな花を咲かせています。

三国南小児童は汐見公園にユリの球根

（2面に関連）



三国南小の2年生25人が6月20日、汐見公園のシバザクラ前の川沿いにユリの球根約600個を植えました。暑さにもかかわらず立派に育ち、色とりどりの花が咲き始めています。楽しみです！



昨年度のディスクゴルフのつどい

秋のイベント 気軽に参加を

- 三国節輪踊り（神明社） 9月13日（土）
- 雄島健康ウォーキング 9月21日（日）
- ハッピーハロウィン魔法の地図 10月18日（土）
- シバザクラ植栽 10月25日（土）
- エコライフ講演会 10月10日（金）
- まちかどの花と緑のフォト募集 10月1日（水）～11月30日（日）
- ディスクゴルフのつどい 11月2日（日）
- エッセル坂クリーン大作戦 11月16日（日）

日程が変更となる場合があります。いずれの行事も詳細はCOM+にてお知らせします。お問い合わせは三国コミュニティセンターまで。



汐見公園でシバザクラの植栽をする中学生



子どもの歓声が響くハロウィン

つづやき ニュースポーツの会場。仲良くしてくださる大先輩を見つめ、手を振りほっとひと安心。おかげでいろいろな人とお話しました。さすが自分（どや）そして体を動かすことが、こんなに楽しいとは。ハナマルの一日でした。みんなにこんな素敵な一日をプレゼントできるように、頑張りたい私です。

「知る」「体験」「考える」がキーワード

令和7年度の防災ミニ教室が6月22日、スタートしました。「知る」「体験」「考える」をキーワードに、

まずは生きのびること

年2月まで、合わせて5回の教室が開かれます。1回目の教室には約30人が参加、福井工大教授の竹田周平氏を講師に「災害大国日本の防災と減災」のテーマで講義がありました。

近年の暑さを「暑熱災害」として、頭痛、ふらつきなど熱中症の症状がある場合は、すぐに医療機関に行くように勧めました。能登半島地震や東日本大地震、福井豪雨など日本各地で発生した災害を振り返りながら地震や津波などのメカニズムを説明し「南海トラフでは福井も震度5弱

の可能性があると指摘。「自分だけは大丈夫」という偏見を捨て、災害で最も大事なのは「生きのびること、そして健康」と強調しました。また災害時は大量の偽画像が投稿され「誤った情報こそ拡散される傾向にある」と注意を呼びかけました。

防災ミニ教室スタート 今年で5年目



防災・安心部会

第1回目 まとめ

- ・線状降水帯の被害が近年多く発生している
- ・大雨のピークと河川水位は一致しない
- ・大きな地震は福井も例外ではない
- ・津波は迅速な避難行動が大切
- ・普段から考えることが究極の状況で役立つ
- ・災害への対策は継続することが大切
- ・女性視点での避難所運営を考える
- ・備えの日常化を（人間は忘れてしまう）

「防災ミニ教室」スケジュール

- ・2回目 (8月31日) 生きのびる知恵、非常食を備蓄する大切さを学ぶ。
- ・3回目 (9月28日) 三国南、北小の両校への避難を体験、経路をチェックする。
- ・4回目 (12月7日) 小学校体育館でテントや簡易トイレなどを設営。
- ・5回目 (2月15日) これまで学んだ防災・減災への取り組みを基に意見交換。

防災倉庫の確認

9月7日(日) 三国南小学校(午前9時) 三国北小学校(午前10時30分) どなたでも参加できます。

絵や写真で 三国の日記

三国で出会った風景や思い出を、写真やイラストと文章で表現する「みくに写真絵日記」を募集しています。今回は秋に開かれる「湊ノ芸術祭」とコラボするなど、新たな企画としました。応募締め切りは10月31日。三国に住んでいる人が日記を書くことで地域の魅力を再発見してもらいとともに、県内外に三国の良さを発信、三国を訪れるきっかけにしたいという狙い。昨年から始まり、小学生79点、一般27点の応募がありました。今回からは三国の写真やイラストに加え、各家庭に眠っている昔の

10月まで募集

令和6年度最優秀賞に輝いた山田美和さんの作品



今秋の「湊ノ芸術祭」とコラボ 芸術祭2025（9月26日〜28日、10月4、5日）ノコラボ企画として、アーバンデザインセンター坂井に展示します。ただ、展示されるのは9月19日までに応募した作品に限らせていただきます。

三国コミュニティセンターに設置するボックスへの提出またはLINEオープンチャットへの投稿もできます。提出いただいた写真は返却しません。問い合わせは三国コミュニティセンターまで。

みんなで創った三国の味はいかが

みくに大好き部会 三国高生徒とみくに地区まち協が協力して開発した

県教育長にプレゼント

手作りスイーツ「らっきょん」。「地域デザイン講座」として三国高を訪れた藤丸伸和・県教育長に生徒らが「地元のらっきょうを使ったケーキをぜひ味わって」とプレゼントしました。

可能性に期待しました。最後に生徒らの前で井上潔晴さん、木下珠里さん、高戸真喜

三高生とまち協が開発

三高生スイーツ「らっきょん」

講座は藤丸教育長が講師となり各県立高で開いており、三国高では7月22日に地域探求部員30人が参加しました。藤丸教育長は2040年の福井の姿を想像しながら「地域の未来と自分の人生をつなげてほしい」と若い人の

「らっきょん」

パウンドケーキに刻んだ酢漬けのらっきょうを練り込み、いろいろな香辛料を加えたスイーツ。



三国高生徒とまち協が協力し昨年末から試作を重ねてきました。

3月のみくにワイワイまつりで試食をしてもらい、甘くてしょっぱい味は好評でした。ラベルシールのデザインも自分らで制作、「三国のために売りたい」と考えています。

三国南小児童「ユリの花園楽しみ」

梅雨の晴れ間をぬって、色とりどりの水筒を手にした三国南小2年の児童24人が、汐見公園に元気に駆けつけました。

球根を植えるために開けた黒のシートの上に、赤、白、黄、オレンジなど色とりどりの花を種類ごとに仕分けて、植え付け作業を開

始。初めはやや戸惑っていましたが、慣れるにつれ競うように球根を埋めていきました。

シートの上に穴を掘り植え付けました。色の種類はバラバラなので、この場所だけはカラフルなユリ園になるかもしれません。



ルールを覚え、楽しく

初めての競技とあって参加者はやや緊張していましたが、ルールを理解し慣れるとともに歓声も。「あの玉を狙うか」「そこじゃないって」「どうやったから勝てるんや」など駆け引きを楽しんでいました。参加者からは「誰でも簡単にでき、こんなに面白いとは」「暑い時は室内スポーツ」との声。この体験を通じて、抗戦をするときと盛り上がりがありますね。

健康福祉・育成部会



ニュースポーツ体験

「楽しんで！」をテーマにしたニュースポーツの集い。木材を使った「モルック」、カールリングのような「スライディングリング」、目標に向けてボールを投げる「ペタンク」の3種類のルールの説明を聞きスタートしました。

みくに大好き部会

三国の景色を海から目線で



参加者を乗せ、東尋坊沖を走るヨット

夏の光が輝く7月26日、参加者9人がヨットで河口から雄島沖までクルージングし、海から三国の風景を楽しみました。潮風に吹かれながら約2時間の航行。いつもと違う目線でふると三国の景色を堪能しました。

健康福祉・育成部会

まちなかサロンに移動スーパー



「今日のおやつはどれにしよう。おしゃべりしていい物を楽しむ人たち

毎週水曜日に開いている「まちなかサロン」に移動スーパーが開店しています。日用品から食料品まで一通りの品が揃っており、ちょっとした買い物が便利です。まちなかサロンでは民族楽器の演奏会なども定期的に開催しています。ぜひ足を運んでください。